



過去最多の人が熱狂!

12月2日・3日に秩父夜祭が開催されました。「秩父祭の屋台行事と神楽」を含む33件の「山・鉦・屋台行事」が、ユネスコ無形文化遺産に登録された効果もあり、2日間で過去最多の386,000人が秩父夜祭を満喫しました。今年は絹市が復活し、訪れた方々は、秩父銘仙の展示販売や伝統工芸職人展などを楽しんでいました。



家族で楽しむ「吉田よいとこ祭」

11月6日、吉田取方総合運動公園で「吉田よいとこ祭」が開催されました。当日は晴天に恵まれ、ステージでは文化団体連合会による神楽、コーラス、フラダンス等の発表、三船和子歌謡ショーが行われ、大いに盛り上がりました。会場にはフワフワ、ミニ電車が登場し、大勢の家族連れでにぎわいました。

「大滝ふれあい祭り」が開催されました



11月12日、大滝ふれあい祭りが大滝体育館で開催されました。書画や写真、盆栽など力作が出展された大滝文化展のほか、お年寄りから子どもまで一緒にゲームや体操を楽しめる健康ふれあいコーナーが行われました。また、今回は生演奏に合わせ、みんなで歌うふれあい喫茶が行われ、参加者は楽しい時間を過ごしました。

インプロ 即興劇で健康づくり



11月19日、荒川公民館で、寿大学の講座「即興劇による仲間と健康づくり」が行われました。荒川リトルヒップホップがダンスを披露した後、講座に参加しました。全員の心を合わせるための発声練習やゲームを通じて、参加者は笑顔で楽しい時間を過ごしました。



仮囲いに「秩父の四季」

11月27日、西武秩父駅前の建設現場で、新秩父宮記念市民会館開館PRイベント「仮囲いイベント」が行われました。市内の小中高生が「秩父の四季」をテーマに描いた15作品を貼り付けました。作品の飾り付けが完了すると、観光客や通りがかった方も足を止めて、「秩父の四季」を楽しんでいました。

発車メロディーが「旅立ちの日に」に♪



11月27日から、西武秩父駅の発車メロディーが「旅立ちの日に」に変更になりました。「旅立ちの日に」は、平成3年に誕生した秩父市発祥の卒業ソングで、現在では全国の卒業式で歌われています。当日の記念セレモニーには、作者の高橋浩美さん、編曲者の松井孝夫さんらが出席し、発車メロディーの変更を祝いました。